

生活教養科 1 年 保育高大連携授業

10月4日(火)宇都宮共和大学(長坂キャンパス)で、生活教養科1年生の高大連携授業が実施されました。

まず初めに、大講義室で「保育者の仕事と保育の意義」について高柳学科長の講話を拝聴しました。その後、2クラスに分かれ、各講義室にて杉本先生の「対人支援者になる人にとって大切なコミュニケーションワーク」、星先生の「乳児への関わり方と保育の基本に関する特別授業」を受講しました。

「子どもとよりよい関係を作るために、コミュニケーション力の向上を目指したアクティブラーニング」や、「保育者としての赤ちゃんとの関わり」、「乳児保育の現状」などを、実習を通して学ぶことができました。高校の授業では学ぶことができない専門的な内容でした。生徒たちにとって、楽しく充実した高大連携授業となりました。



高柳学科長の講話を真剣に聞く生徒たち



人形を使って、保育体験をしました。



コミュニケーションワークを通し、幼児のパーソナルスペースの確保が必要であると知りました。



乳児への関わり方について、人形を使って実践しました。